

## 身近な植物の開花・結実の記録への試み

- 宇都宮市瓦谷町の植物を素材にして -

吉川 誠

浜口(1988)は、神奈川県全域における4月上旬の2年間の開花期調査から、神奈川県の春は三浦半島南部から始まり、海岸部、内陸部、山地部へと順に進んで行くことを明らかにした。また同著のなかで、神奈川県の1986年、標高200m以下の地域の旬別開花一覧表(花暦)を発表している。

しかし、筆者がこれまでに目にすることのできた栃木県内における開花に関するまとまった記録は、園部(1990)、栃木県立栃木高等学校(1992)だけであった。開花と結実を対照させた研究は確認できなかった。実際に、栃木県内では開花・結実の調査はあまりなされていないものと思われる。

筆者は、以前から植物の開花・結実期に興味を持っていた。例えば、真冬に開花するセイヨウタンポポや、6月上旬に見られるハルジオンからヒ

メジョオンへの開花期の一斉な入れ替わりには毎年注意していた。しかし、開花・結実期の調査は時間的な制約が多いためこれまでは実施できないでいた。

しかし、筆者は昨年農業試験場と同じ場所にあるの職場に転勤になったため、農業試験場やその周辺の地域の開花や結実などを間隔をあまりあけないで継時的に観察することができるようになった。

そこで筆者は、開花・結実の概況把握と調査方法の模索のため、平日の昼休みなどを利用して開花、結実を約10ヶ月間調査してみた。

## 1．調査地の概要

宇都宮市瓦谷町

- ・ 農業試験場（アカマツ林、水田、畑：標高150～180m）
- ・ 農業試験場の東・南東側に隣接するスギ林、コナラ林、水田、畑：標高150～180m）

## 2．調査方法

1997年2月中旬から11月下旬までの約10ヶ月

間、各旬 1 回以上、調査地内に生育している植物の開花と結実を記録した。記録内容は次のとおりである。

#### 蕾期

開花期：柱頭または葯の露出した時。雌雄別に記録

：未熟果期

：成熟果期：着色、裂開、容易な脱落のいずれかが見られた時

：孢子囊穂：スギナ

各調査日のコース長は、調査地全体の 3 分の 1 程度である。

樹木では、植栽の種も調査対象とした。シダ植物のスギナの孢子囊穂も記録した。

### 3 . 調査結果

調査結果は表 1 のとおりである。ただし、調査ルートによって、既に記録した種が生育していない場合があるので欠測が生じている（例えば、5

月上旬でコハコベが空欄になっているのは、たまたまその旬の調査コースにコハコベが生育していなかったためである)。以下、この調査で確認できた現象をいくつか記してみる。

#### (1) 月別の開花・結実の概観

- 2月：開花している種は少ない。オオバマンサク、ナズナ、ノボロギク、スズメノカタビラ（広義）などが開花している。
- 3月：上・中旬にスギの雄花が開花する。下旬に、キク科を中心に開花する種が増えてくる。
- 4月：上旬からナデシコ科、キンポウゲ科、バラ科、ツツジ科・スゲ属の多くの種で一斉に開花する。下旬にはナデシコ科、スゲ属で成熟果が見られるようになる。
- 5月：上旬からイネ科の開花が目立ってくる。中・下旬はスイカズラ科、キク科の開花が多い。
- 6月：ギシギシ属、ユキノシタ科の開花が多くなる。バラ科、イネ科では成熟果が多

くの種で見られる。ナデシコ科では開花

・成熟果の両方が見られる。

7月：セリ科の開花が目立つ他は特徴が少ない。

8月：マメ科、ゴマノハグサ科、ユリ科、カヤツリグサ科（スゲ属を除く）の開花が多い。

9月：上旬にはマメ科、カヤツリグサ科（スゲ属を除く）の開花が多い。月を通してタデ科、アカバナ科の開花が多い。スイカズラ科の果実が成熟してくる。

10月：上旬にはシソ科、キク科、イネ科の開花が多い。中・下旬は多くの科で成熟果が見られるようになる。

11月：開花はアブラナ科、キク科などで見られるが、全体に少ない。多くの科で成熟果が見られる。

## (2)開花期が長期にわたる植物

ウシハコベ：4～11月

タネツケバナ：2～6月、9～11月

スカシタゴボウ：4～11月

オオイヌノフグリ：2～7月、11月

オオバコ：4～10月

セイヨウタンポポ：3～11月

カモジグサ：5～10月

スズメノカタビラ（広義）：2～9月

### (3)同属内での開花期の差

#### *Cerastium*

オランダミミナグサ：2～4月、6月

ミミナグサ：4～6月

#### *Prunus*

ヤマザクラ：4月10日（満開）

カスミザクラ：4月18～21日（満開）

ソメイヨシノ：4月7日（満開）

#### *Rubus*

クマイチゴ：5月上・中旬

ニガイチゴ：4月中・下旬

モミジイチゴ：4月上～下旬

ナワシロイチゴ：6月中旬

#### *Rhododendron*

ヤマツツジ：4月29日（満開）

トウゴクミツバツツジ：4月18～21日（満

開)

アカヤシオ：4月3～4日(満開)

*Clinopodium*

トウバナ：6月上旬～8月中旬

ヒロハヤマトウバナ：7月中旬～10月上旬

イヌトウバナ：7月下旬～10月上旬

*Veronica*

タチイヌノフグリ：3～6月

オオイヌノフグリ：2～7月、11月

*Erigeron*

ヒメジョオン：5～11月

ヒメムカシヨモギ：7～11月

ハルジオン：3～8月、10～11月

オオアレチノギク：8～11月

*Dioscorea*

タチドコロ( )5月

ヤマノイモ( )7～8月

オニドコロ( )7～8月

*Imperata*

チガヤ：5月29日(満開)

ケナシチガヤ：5月7～13日(満開)

*Miscanthus*

オギ：10月

ススキ：9～10月

*Setaria*

アキノエノコログサ：7～10月

キンエノコロ：8～10月

エノコログサ：7月

*Cyperus*

コゴメガヤツリ：7～9月

カヤツリグサ：8～9月

(4)開花期から成熟果期までに要する日数

今回の調査では、開花と成熟果の両方が同じ個体または群落で観察できた種は少なかった。

それらが確認できた種の開花期から成熟果期までの日数は次のとおりであった。

オノエヤナギ：30日

スイバ：30日

オランダミミナグサ：60日

コブシ：180日

ヘビイチゴ：40日

ヤマザクラ：60日

ワレモコウ：90日



ゲンゲ：60日  
ヤハズエンドウ：60日  
アワブキ：110日  
ハナウド：50日  
アカネ：50日  
タチイヌノフグリ：60日  
ミヤマウグイスカグラ：50日  
ニワトコ：50日  
コセンダングサ：30日  
ノアザミ：40日  
ツルボ：60日  
カモジグサ：30日  
イヌビエ：30日  
カニツリグサ：30日  
ミヤマカンスゲ：30日

(5)キク科、イネ科の開花期、結実期の推移

今回の調査で多くの種が調査対象となったキク科、イネ科の開花、結実の推移を図1～2に示した。両科とも、5、9～10月に開花期のピークが見られた。そして各ピークの

30～40日後に成熟果期のピークが見られた。

#### 4. 調査の反省

筆者はこれまで標本作製によるフロラ調査をいくつか手がけてきたが、今回のように定期的に生育を記録する調査は初めてであった。次の原因により、当初目標としたほどの十分な調査にはならなかった。

- (1) 調査範囲が広すぎたため記録が間に合わず欠測が多くなってしまった。
- (2) 調査中の草本が鎌や除草剤で部分的に除草されてしまった。人家近くや公共施設内では当然のことである。
- (3) 比較すべき資料が少ないため、調査の計画が立てにくかった。

#### 謝辞

この調査に対して助言していただき、文献を筆者に提供された栃木県立博物館の園部力雄氏にお礼申し上げます。

## 引用文献

浜口 哲一 1988 神奈川県植物季節 神奈川県  
植物誌調査会・他（編）神奈川県植物誌

1332-1343

園部 力雄 1990 栃木南高校周辺の植物（目録追  
補および開花時期について）栃木県立栃木南  
高等学校研究集録「楠」3：6-13

栃木県立栃木高等学校 1992 栃木高校内での雑  
草の開花時期調査 栃木高等学校生物部報

1：4-11